

tree (ドットツリー) 修善寺

新しいカタチの賃貸住宅

2016年3月、伊豆市修善寺に新たに誕生した「tree (ドットツリー) 修善寺」。そこは単なる賃貸住宅ではなく、様々な業種の事業者が集い、伊豆の総合商社のイメージを持って活動している。

「tree (ドットツリー) 修善寺」(以下ドットツリー)は、2016年3月に誕生した「住居」と「小規模オフィス」をセッ

そこを拠点に活動しながら、他の事業者とも交流を深められる場所となっている。

生工場跡地を利用

そんなドットツリー誕生のきっかけは、700坪あった生工場跡地を、他の事業者とも交流を深められる場所となつていく。



オシャレな作りのオフィス

「商いの力で 地域を元気に」

古藤田さんは「このドットツリーはNPO法人と民間企業が連携して事業を行い、商いの力で地域を元気にしていくこととして始まったものです。どんな人たちが入居するの

古藤田さんは「このドットツリーはNPO法人と民間企業が連携して事業を行い、商いの力で地域を元気にしていくこととして始まったものです。どんな人たちが入居するの

ドットツリー のこれから

古藤田さんとNPO法人サプライズの飯倉さんは「ドットツリーがこれからのように進んでいくのかは分かりませんが、より多くの方々にドットツリーのことを知ってもらえるようにしたいです。しかし、2つ目のドットツリーを作ることには考えていません。カタ

点にしたいという人もおり、その人の労働環境をここに入る前より入った後の方が良くなるようにしたいです」と語った。



ドットツリーを運営する古藤田商店社長 古藤田博澄さん

ドットツリー成功の理由

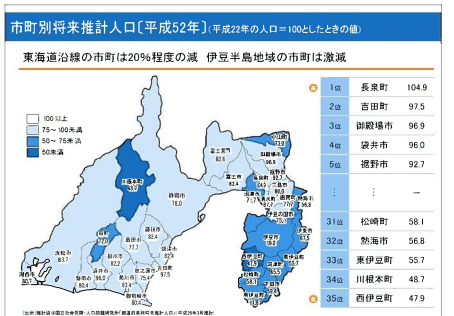
NPO法人 サプライズ 飯倉清太さん



「地域の活性化」を推進する「ドットツリー」の成功の理由

株式会社古藤田商店とともにドットツリーの運営を行っている、NPO法人サプライズの飯倉清太さんは「僕は元々地域活性化などの仕事をやっていたのですが、古藤田さんと『会議はしてもカタチにならないことが多い』と話をして、ドットツリーを作ろうと思ったきっかけです。ドットツリーを視察に来てもらえるように情報発信しました。地方でも仕事が成立する方が、このプロジェクトに興味を持ってくださった方々へ情報を絞り発信することで、不特定多数に発信したときより2倍、3倍

の推薦を受けて地域活性化伝道師になりました。自分の信じていることを続け、発信することを繰り返せばいつか認められ、学んだことは誰かに伝えたい方が勉強になるものです」と話した。



この紙面を制作して分かったことは、人口減少が進んでいる静岡県内でも特に人口流出が激しい伊豆・東部地区では、各企業や団体が今以上に人口減少対策に尽力が必要ということだ。

まとめ

伊豆・東部地域 解決のため若者の力を

人口減少が深刻化

この紙面を制作して分かったことは、伊豆・東部地域で人口減少に取り組み企業や団体の代表格だろう。新しいコンセプトの賃貸住宅を経営し、事業者を集め、交流の場として活用している。この取り組みは全国的にも注目されてきている。伊豆・東部地域という場所でのような事業を展開することは、人口減少に歯止めをかけるきっかけになるのではないだろうか。そもそも人口減少というのは減少速度を遅くすることはできず、止めることは難しい。しかし、対策をしなければ減少する一方だ。少子で減少速度を遅くするためにも、働く場所を増やすための取り組みが重要だ。その中心となるべきは将来を担う若年層だ。進学で地域外に行く人も多いと思うが、伊豆・東部地域で就職、または起業して、進学先で学んだ成果を発揮することも選択肢の一つとして考えてもらいたい。そして、伊豆・東部地域の人口問題を解決していく協力者として共に活動してほしい。

実際に入居している事業者の方々には、普段の仕事内容やドットツリーで生活するメリットなどについて取材した。



実際に入居している植松さん(左)と中江さん(右)

「tree (ドットツリー) 修善寺」(以下ドットツリー)は、2016年3月に誕生した「住居」と「小規模オフィス」をセッ

「一面担当」 県立熱海高校報道部 「二・三面担当」 日本大学三島高校新聞部 「四面担当」 県立葦山高校写真報道部